

# ナマケモノ畑の マイエンザの使い方

- ソラマメ、スナップエンドウやオクラの土壌処理に
- (注意：あくまでも当農園の使用法概要のご紹介です。)

July 2022



# 土壌処理

- ▶ 土壌陽熱消毒に際してマイエンザを施用する
- ▶ 土壌還元消毒に際して、マイエンザを施用する
- ▶ カラシナすき込と併用する

# 陽熱消毒＋マイエンザ

- ▶ 圃場整地後、元肥を溝施肥し、マイエンザ原液を（10メートル当たり1リットル）畝の範囲に散布後、直ちに畝立て同時マルチ（透明）し、約1か月養生する。
- ▶ 参考「陽熱プラス 実践マニュアル」（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター）
- ▶ ※ソラマメなど秋作に適用している。オクラの場合、5月植え露地栽培に適用。（晩秋～3月、効果期待できない）

# 土壤還元消毒 + マイエンザ2 (ソラマメ)

- 糖含有珪藻土を10アールあたり1から1.5トン散布、土と混和（ロータリー耕）
- マイエンザ原液（10メートル当たり1リットル）を畝部に散布し直ちに畝立て同時（平うね）マルチ（透明）。
- マルチ内の灌水チューブ経由でたっぷり灌水する。（畝間にも散水する）そのまま約一か月養生する。
- マルチ除去後、溝施肥、畝立て銀マルチ被覆し植え付けへ進む。
  
- ※令和3年、鹿児島県農業開発総合センターの指導で試行
- 令和4年8月3日、実施予定。

# 土壌還元消毒 + マイエンザ 1 (オクラ)

- ▶ (ハウス) 米ぬか全面散布後、整地し全面にビニル被覆し、ビニルの下に設置した灌水チューブを通して、ヒタヒタになるまで水、糖蜜とマイエンザを加える。そのまま一か月程度養生する。
- ▶ 7～8月に実施。オクラの植え付けは翌年2月上旬。
- ▶ 令和3年実施

※マイエンザを加えることでより速やかに還元状態に達するのではないか？（であれば秋期、冬期の実施も可能に？検討課題）

# カラシナすき込 + マイエンザ (オクラ)

- ▶ (ハウス) 9月にカラシナ (辛神) 播種
  - ▶ 12月カラシナ粉碎、すき込後ビニル被覆、一か月養生
  - ▶ ビニル除去、整地、施肥後、マイエンザ原液を畝範囲に散布し畝立て同時マルチ
  - ▶ 約一か月養生し、そのままオクラ播種 (2月上旬、2月末)
- 
- ▶ 令和4年2か所のハウス (ビニル二重被覆) で試行
  - ▶ 2月上旬植えは、その後の寒波で「立ち枯れ」多数
  - ▶ 2月末植えは、順調に生育した